

2024年7月31日

南関東ライフセービング選手権大会

(兼)第50回全日本ライフセービング選手権大会南関東ブロック予選会

南関東
競技役員
募集要項

第49回全日本ライフセービング選手権大会
南関東ブロック予選会 実行委員会

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素はライフセービング事業に対し格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り「南関東ブロック競技会～第50回全日本ライフセービング選手権大会南関東ブロック予選会～」を開催いたします。つきましては開催にあたり参加競技者の募集をいたしますので皆様のご参加をお待ち申し上げます。

感染症対策について、今後も基本的な対策は継続をいたしますが日本国政府や関係省庁が発する感染対策に関するガイドラインに変更が生じる場合は、その指針に則って対策を講じることとします。新型コロナウイルスの流行に対し、要項発表の時点では実施の方向で準備を進めていますが、今後、感染拡大の危険性、流行のピーク、開催地を管轄する都道府県及び自治体の方針などをふまえ開催中止も含め変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

敬具

記

■大会名称: 南関東ライフセービング競技会

～第50回全日本ライフセービング選手権大会南関東ブロック予選会～

■主催: 一般社団法人神奈川ライフセービング協会／一般社団法人東京都ライフセービング協会

■日程: 2024年9月21日(土)・22日(日) ※予備日については設けません

■会場: 三浦海岸海水浴場 (神奈川県三浦市南下浦町上宮田) ※調整中

■後援(予定) ※調整中

■協力(予定) ※調整中

■競技種目

[個人種目]

01 サーフレース (女子)

02 サーフレース (男子)

03 ビーチフラッグス (女子)

04 ビーチフラッグス (男子)

05 ビーチスプリント (女子)

06 ビーチスプリント (男子)

07 ビーチラン (2km) (女子)

08 ビーチラン (2km) (男子)

09 サーフスキーレース (女子)

10 サーフスキーレース（男子）

11 ボードレース（女子）

12 ボードレース（男子）

13 オーシャンウーマン

14 オーシャンマン

[チーム種目]

15 レスキューチューブレスキュー（女子） *4人1組

16 レスキューチューブレスキュー（男子） *4人1組

17 ビーチリレー（女子） *4人1組

18 ビーチリレー（男子） *4人1組

19 ボードレスキュー（女子） *2人1組

20 ボードレスキュー（男子） *2人1組

21 オーシャンウーマンリレー（女子） *4人1組

22 オーシャンマンリレー（男子） *4人1組

- 中学生が参加できる種目については「サーフスキーを使用する種目」および「ビーチフラッグス」を除くこととする
- 中学生が出場する場合は、競技会参加規程 1. 及び別紙「中学生参加の特別同意書」を提出すること
- 種目の登録数は競技者1人につき2種目を基本とする
- 3種目以上に出場する場合は、追加参加費（1,000円/1種目）が必要となる
- [チーム種目]については、各団体／クラブから各種目1チームまでのエントリーとする

■競技規則

日本協会より発行されている「ライフセービング競技規則<2023年版>（2023.08.07版）」および大会参加規程に則り実施をする。詳しくは大会参加規程 7. を参照すること。

※ 2024年7月以降新しい競技規則が発行されることがあれば、新しい競技規則に従うこととする。

■タイムテーブル

参加者申込締め切り/集計後2次要項と共に公表する

■テクニカルオフィシャルの選出

参加団体／クラブの参加競技者人数に応じたテクニカルオフィシャルの選出をすること。競技会運営を円滑に実施するための措置とする。大会参加規程 9. を遵守すること。

なお、チーム選出のテクニカルオフィシャルについては、宿泊を準備することはないのでチームまたは個人で宿泊先を準備すること。チーム選出以外のテクニカルオフィシャルについては、当実行委員会で宿泊を準備することとする。

■募集概要／役職

役職：テクニカルオフィシャル

任務：競技会運営及び競技における様々なジャッジの担当

資格：有効な認定審判員資格を保有し、本競技会に競技者として出場登録をしていない者

■参加条件

- ・ JLA が認定する認定審判員資格を申込締め切り期日までに取得していなければならない
- ・ 本競技会に競技者として出場登録をしていないこと
- ・ 申込締め切り期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて本年度の資格登録費の支払いを完了していなければならない
- ・ テクニカルオフィシャル業務全般が支障なく遂行できること
- ・ テクニカルオフィシャルの担当役職及び配置は、大会実行委員会にて決定をする。但し、役職及び配置に配慮が必要な場合は、事前に申告をすること（「その他連絡事項」欄に記入する）。
- ・ 申込時、「役職経験」と「希望する役職」の申告を可能とする。但し、円滑な競技会運営の為必ずしも希望通りの役職及び配置とはならない場合もある。

■テクニカルオフィシャル会議

競技進行や競技実施における注意事項等について説明する競技役員会議を、競技会期間中両日とも開催する。テクニカルオフィシャルは必ず出席をすること。詳細は2次要項で公表する。

- 開催日時：2024年9月21日(土)および22日(日) 競技開始前（予定）
- 開催場所：競技会会場 競技役員テント（予定）

■交通費（チーム選出ではない個人申し込みのテクニカルオフィシャルに限る）

後日、申込者指定の金融機関口座へ振込にて支払いをする。

- チーム選出となる場合は精算の対象外とする。この場合は自己負担または選出を依頼したチームが交通費を負担すること。
- 交通費の支給金額は、次の通りとする。
 - ◇ 認定審判員：上限 5,000 円
 - ◇ 申込時に、自宅最寄駅と公共交通機関を記入すること
 - ◇ 自家用車等で来場する場合も、公共交通機関による運賃計算とする
 - ◇ 金融機関口座の口座番号等を間違えずに正確に入力すること。間違いにより送金できなかった場合の再送金にかかる振込手数料を差し引いての再送金とするため注意すること
 - ◇ 「三菱 UFJ 銀行」の口座を持っている場合は優先して記入すること
 - ◇ 入力（記載）する前に、必ず通帳やキャッシュカードの再確認をすること
 - ◇ 「ゆうちょ銀行」を指定する場合、以下のどちらかの組み合わせとなる。組み合わせや数字の桁数が間違っていないかどうか、再確認をすること。
 - (ア) ゆうちょ銀行専用 記号（5 桁）－番号（8 桁） ※数字のみ
 - (イ) 他の銀行からの振込対応 店番（3 桁）－口座番号（6 または 7 桁） ※数字のみ

■宿泊について（チーム選出ではない個人申し込みのテクニカルオフィシャルに限る）

チーム選出となる場合は宿泊提供について対象外とする。この場合は自己負担または選出を依頼したチームが交通費を負担すること。宿泊については、2024年9月21日(土)となる。宿泊先などの詳細は2次要項にて公表する。

■食事

食事については下記を提供する。

- 2024年9月21日(土)：昼食（会場）
- 2023年9月22日(日)：朝食（会場）・昼食（会場）

■ユニフォーム／服装

テクニカルオフィシャル：

- ◇ 認定審判員ユニフォーム【帽子、審判員ユニフォーム上衣（ポロシャツ：白）、審判員ユニフォーム 下衣（短パン）】、ライフセービング競技規則、靴、靴下、笛、筆記用具（ペン）、雨具・防寒着（所属団体／クラブの名前が入った防寒着等は不可）を各自で持参すること。サンダル等（クロックスサンダル含む）は不可とする。
- ◇ サーフエリア担当の場合、競技運営の都合で海へ入水する可能性があるため、上記準備物と併せて、水着、ウェットスーツ、ラッシュガード、タオル等も各自で用意すること。
- ◇ IRB ジャッジ担当の場合、動きやすい服装であれば服装の指定はない。水着、ウェットスーツ、ラッシュガード、雨具・防寒着（いずれも所属団体／クラブの名前が入った物は不可）は各自で用意すること。上記審判員ユニフォームも必ず持参すること。
- ◇ 競技会中の貴重品の管理は各自で行うこと。
- ◇ 競技会中は両手の空くウエストポーチ等を活用すること。 ※2019年度より認定審判員ユニフォームの配布支給はしない。各自で購入手配するか、予め各団体／クラブや知人からの借用をする等において、用意すること。

■会場へのアクセス／駐車場について

三浦海岸海水浴場（神奈川県三浦市南下浦町上宮田）

<https://miura-info.ne.jp/sightseeing/beach-1/>

■申し込み方法

各種要項等を必ず熟読し、以下の手順でエントリー作業を行うこと。

※様々なエントリー不備（期日までに各種登録が完了していない、メールアドレス入力間違いなど）が非常に多く発生しているため、間違いが無いように慎重に作業を進めること。

【オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」での作業】（テクニカルオフィシャルに限る）

- テクニカルオフィシャルは、自身の「資格登録」の2023年度登録を期日までに完了させること（登録申請を行い、期日までに登録費を支払う）。

- 資格登録費の支払いは「LIFESAVERS」システムに従い入金をすること（競技者参加費受付の金融機関口座への振り込みではないので注意すること）。

【エントリーの作業】

- 『Google フォーム』より申込を進めること
申し込みフォーム

<https://forms.gle/DKnjNu2LVE4ty6g47>



- 2 次要項の配信およびその他の情報発信は、全てメール配信にて行う為、「info@lifesaving.ne.jp」からのメール受信ができるように端末（メールソフト、スマートフォンなど）の受信設定をすること。

■申し込み締め切り日

2024年8月23日(金)23時59分59秒 まで

■お問い合わせ

一般社団法人 神奈川ライフセービング協会事務局

〒254-0038 神奈川県藤沢市鵜沼松が岡 3-17-1

TEL : 0466-60-2212 FAX : 0466-60-2213

E-Mail : compe@lifesaving.ne.jp ■申し込み締め切り日

2024年8月23日(金)23時59分59秒 まで

南関東ブロック競技大会
南関東ブロック競技大会
第 50 回全日本ライフセービング選手権大会南関東ブロック予選会
参加規程

1. 参加資格

競技者の参加資格は下記を満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 競技者は、競技会 1 日目当日満 12 歳以上でなければならない（但し、小学生を除く）。
- 1-2 競技者は、ライフセービングを志し、指定された資格を保有した状態で出場する競技会の過去 1 年以内に海岸やプール等水辺での監視・救助活動、または教育・普及活動に従事したものでなければならない（但し、中学生を除く）。但し、昨今の新型コロナウイルスを取り巻く状況を鑑み、参加に必要な監視・救助活動、または教育・普及活動が行えない状況にある場合は、この限りではない。
- 1-3 競技者は、本協会が認定するアカデミー資格を、申込締切日までに取得していなければならない（関係する講習検定に不合格となった場合でも、競技会参加費は返還されない）。年齢区分別に対象資格は以下の通りとする。
- 一般：サーフライフセービング資格 ※
- 高校生：BLS 資格及びウォーターセーフティ資格
- 中学生：ウォーターセーフティ資格
- ※ サーフライフセービング資格とは次の資格のことを指す（JLA アカデミー規程集「資格認定に関する規程」より）
- ・サーフライフセービング・指導員（アシスタントインストラクター含）
 - ・ベーシック・サーフライフセーバー
 - ・アドバンス・サーフライフセーバー
- 1-4 競技者は、申込締め切り期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて本年度の資格登録費及び選手登録費の支払いを完了していなければならない。
- 1-5 競技者は、1 つの団体／クラブから出場しなければならない。
- 1-6 中学生出場については、チーム特別同意書を提出しなければならない。
- 1-7 本競技会に出場できるのは、各ブロックにて実施される認定競技会（予選会）等において、各ブロック及び各種目に定められた「本戦出場枠」として選出された個人ならびにチームでなければならない。「本戦出場枠」として選出された個人ならびにチームとは、各ブロックから本協会へ報告のあったものとする。

【参加条件】

- ユース責任者と保護者は、参加する全てのレースに立ち会えること。
- 大会参加規程「1. 参加資格」の全ての条件を満たしていること。また、ユース責任者、保護者および競技者本人が、参加資格を満たしているかどうかを、必ず 3 者揃って確認をすること。
- 中学生が参加できる種目は「サーフスキーを使用する種目」および「ビーチフラッグス」を除くこととする。
- 競技者本人の参加が、競技会進行を妨げないこと。

- 競技者本人が、ユース選手権大会等の競技会における、U18 の部（高校生相当）で入賞を目指せる実力を持つこと。
- 競技会主催者には、主観的な判断で中学生の参加を止める権限があり、その判断に対する抗議は受け付けない。また、いかなる理由においてもエントリー費の返却はしない。

【参加方法】

- 競技会会場で立ち会うユース責任者と保護者が、参加する本人の体格・技術・体力・精神面および海のコンディション等をレース毎に確認し、話し合い、参加の是非の判断を自身の責任において行うこと。
- ユース責任者は、ライフセーバーとして、またサーフライフセービング・インストラクター資格保持者として、慎重な判断を行うこと。
- ユース責任者は、必ず保護者へ出場条件や競技者の体調および技術など確認し、免責条項を含む「中学生特別同意書」へ入力すること。

2. 団体／クラブ構成

- 2-1 団体／クラブは、申込締め切り期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて本協会への 2022 年度加盟登録が完了していなければならない。
- 2-2 本競技会に出場できる団体／クラブは、第 1 種、第 2 種、第 5 種、第 6 種に限る。但し、第 5 種クラブ又は第 6 種クラブから出場できる競技者（その年齢）は、競技会における最初の競技種目が行われる日に、学校教育法第 17 条第 2 項に規定された保護者による就学義務が発生する年齢を超過している者に限る。但し、超過は 3 歳以下とする。
- 2-3 団体／クラブからの出場は 1 つまでとする。
- 2-4 団体／クラブは、同じ団体／クラブに所属する競技者により構成されていなければならない（競技者は、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて、「クラブ加入申請」または「継続加入申請」を行い、出場する団体／クラブへの所属を完了させること）。
- 2-5 チーム種目において、男女混合チームを編成することは認められない。

3. 団体／クラブ名称

参加団体／クラブ名称は、本協会に登録されている団体／クラブ名称とする。

4. 出場登録

- 4-1 参加競技者は、個人種目・チーム種目に関わらず、予め所定の用紙（電子データファイル）を用いて出場種目の登録をしなければならない（エントリー不備等が発覚した場合は、団体／クラブ代表者及びエントリー担当者にメールでのみ通知をする）。
- 4-2 競技者個人の技術や体力などを十分に考慮し出場登録を行うこと。特に中学生競技者は、別紙「中学生参加の特別同意書」の内容を熟読し、ユース指導責任者および保護者が競技者本人の力量を判断し意思を確認の上、出場登録をすること。
- 4-3 海外競技者の出場登録は、別紙「海外競技者および海外審判員の日本国内競技会への参加について」を参照すること。

※ 全日本競技会の本戦会からの参加は認めないが、日本人競技者と同等条件で各ブロックにおける予選会から参加することは阻まない。

5. 団体／クラブ代表者

各団体／クラブは、団体／クラブを代表する者として代表者を 1 名置かなければならない。団体／

クラブ代表者と競技者はこれを兼任することはできないが、やむを得ない場合は兼任してもよい。ただし、代表者においては規則をよく理解していること。また、代表者会議については、団体／クラブ代表者、やむを得ない場合は代表者代理は必ず代表者会議に出席しなければならない。

6. ユニフォームおよび競技中の衣類

- 6-1 各団体／クラブは、式典や表彰式及び競技に適したユニフォーム、水着、キャップを持たなければならない。ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り、競技中任意に着用することができる。ただし、バスタオルなどについてはユニフォームの扱いではない。
- 6-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。
- 6-3 キャップは、本競技会の申込締切日までにJLAに登録が完了していなければならない。また、キャップ登録管理番号を所定の用紙（電子データファイル）に明記すること。
- 6-4 キャップは、団体／クラブ全員が同様の色とパターンでなければならない。
- 6-5 団体／クラブのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

7. 競技規則

本競技会は、JLA 発行ライフセービング競技規則<2023 年版> (2023. 08. 07 版)」及び下記の事項に則り実施をする。但し、下記の事項が競技規則よりも優先される。

- 7-1 本競技会は、代表者会議開始時刻に開始し、最終競技種目の終了から 20 分後に終了するものとする。但し、抗議、上訴又は規律審査に属する問題がある場合、最終解決まで競技会は継続する
- 7-2 競技会にエントリーをしたことで、参加者は競技会を管理する関連規則、規程、手順を知る責任と義務があることを認識しているものとする。
- 7-3 決勝は A 決勝、B 決勝に分けず、1 ヒート（A 決勝に相当）のみとする。
- 7-4 予選後のラウンド、準々決勝・準決勝の組み合わせおよび配置は、直前の予選・ラウンドの結果に関係なく、ランダムに行われる。
- 7-5 ハンドラーは競技者と共に指定された時刻までにマーシャルに集合し、テクニカルオフィシャルの指示により整列すること。
- 7-6 ハンドラーは、原則として当該競技者と同じチームのメンバー（本競技会に競技者として出場登録している者）とする。やむを得ずチームメンバー以外からハンドラーを選出する場合、チーフレフリーまたはセクショナルレフリーに申し出ること。ただし、本競技会に競技者として出場登録している者に限る。

8. 競技器材

- 8-1 競技で使用する器材は、JLA 発行ライフセービング競技規則の「第 8 章設備及び器材の規格と検査手順」の基準を満たさなければならない。
- 8-2 オーシャン競技で使用するバトン、ブイおよびレスキューチューブは主催団体が用意する。
- 8-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか又は失格となる。

9. テクニカルオフィシャルの選出

9-1 参加団体／クラブは、本競技会の出場予定参加人数に応じてテクニカルオフィシャルを選出すること。選出する人数については以下の通りとする。

競技者 5～10 名＝1 名、同 11～20 名＝2 名、同 21～40 名＝3 名、同 41 名以上＝4 名

何らかの理由でテクニカルオフィシャルが参加できなくなった場合は、代替りの者を必ず選出すること。両日に渡り必要人数の選出がない（競技会当日に必要な人数のテクニカルオフィシャルの参加がない）団体／クラブは、本競技会への出場を認めない（団体／クラブ全体の不参加とする）。

9-2 選出するテクニカルオフィシャルは、JLA が認定する認定審判員資格を、申込締め切り期日までに取得していなければならない。また、本競技会に競技者として出場登録をしていないこと。

9-3 選出するテクニカルオフィシャルは、本協会が認定する BLS 資格を、申込締め切り期日までに取得していなければならない。

9-4 選出するテクニカルオフィシャルは、申込締め切り期日までにオンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて本年度の資格登録費の支払いを完了していなければならない。

9-5 選出されたテクニカルオフィシャルは「競技役員募集要項」に従い、指定された方法で申込を行うこと。

9-6 選出以外で個人での申し込みをしたテクニカルオフィシャルについては、「競技役員募集要項」に基づき、宿泊については主催者が負担する。選出されたテクニカルオフィシャルについては、宿泊の準備は、選出した各団体／クラブまたは個人で負担すること。

9-7 選出されたテクニカルオフィシャルは 2 日間を通じて参加できること。なお、2 日間を通じてテクニカルオフィシャルを選出できないときは、日ごとにテクニカルオフィシャルが入れ替わることを認める。

10. その他

10-1 新型コロナウイルスへの感染リスクをゼロにすることは困難であることを理解し、感染リスクがあることを承諾した上で競技会に参加すること。また、感染リスクを含むあらゆるリスク、損失において参加する競技者自身による自己責任であることに同意すること。さらに、主催者が提示する感染対策を理解し従うこと。万が一、競技会参加者に感染が確認された場合、調査機関への情報開示、参加者へ連絡することに同意をすること（但し、その他の利用目的での第三者への提供はしない）。

10-2 競技会期間中に競技会主催者及び競技会主催者が認めた者が撮影した、競技者やチーム関係者の写真、映像及び録音した音声を、ライフセービングの広報目的での使用、第三者に対して使用を許諾することがある。

10-3 競技会への出場登録時に提出したエントリー情報は、本実行委員会もしくは神奈川県および東京都協会の許可する者がアナウンスを行い、掲示、公開する場合がある。

10-4 競技会中に競技会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。なお、撮影された記録の提出を求める場合がある。

10-5 競技会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、競技会への参加や記録が取り消されることがある。

以上